

特別企画講座

伊勢流神楽の行方

講師 櫻井 治男 皇學館大学名誉教授

ある時期には日本人の6人に1人が伊勢参りをしたという江戸時代、お参りから宿、食事一切を一手に引き受けて仕切ったのは御師とよばれる人々。外宮内宮合わせて800家以上あり、莫大な権力と富を手にしていました。明治になって廃絶されその痕跡はほとんど残っていません。今は神宮でおこなわれている神楽の奉納もその当時は御師の館などで催されていました。今の神宮神楽は明治6年に宮内庁楽部の指導を受けた舞楽です。では御師の館でおこなわれていた神楽はどんなものだったんでしょう？断片的に残っている絵図から推察すると湯立神楽をはじめいろいろあったようです。もはやその名残はどこにもないのでしょうか？

日 時 12月21日(火) 13:30~15:00 参加費 会員 900円 ビジター 1,400円
場 所 五十鈴塾右王舎 定員 20名

聖地巡礼その3 ~龍宮の鐘 紀三井寺~

講師 西山 克 京都教育大学名誉教授

紀三井寺は和歌山県和歌山市紀三井寺にある救世観音宗の総本山です。名草山の中腹にあって山から吉祥水、清浄水、楊柳水の三井水が湧くので紀三井寺と号されています。創建は奈良時代後半、平安末期に後白河法皇によって勅願所と定められ隆盛を極めましたが、室町時代に天変地異や戦乱で荒廃、再建のために霊驗譚や縁起などをわかりやすく説き、喜捨を募る絵解きとして紀三井寺参詣曼荼羅が中世後期に描かれました。図中には、和歌の浦の風光明媚な様子、寺の荘重な建築物に、184人に及ぶ人物が絡み合いいろいろと興味深い縁起を伝えています。さて「龍宮の鐘」の由来とは？

日 時 1月12日(水) 13:30~15:00 参加費 会員 1,200円 ビジター 1,700円
場 所 五十鈴塾右王舎 定員 20名

神崎宣武塾長 特別講座

民俗学者・神崎研究室室長

「絵巻物」を読む 第1回

中世には、おもに寺社の縁起を説く絵巻物がたくさん描かれています。しばしば、その美術史的な評価がなされてきました。しかし、そこには描かれた庶民の暮らしに注目して生活史的な解析はほとんどなされておられません。たとえば、「食事」や「おじぎ」や「信仰」など。それらには、日本文化の祖型といってもよいものも少なくありません。「絵は文ほどにものをいう」のです。

日 時 2月10日(木) 18:30~20:00 参加費 会員 1,200円 ビジター 1,700円
場 所 五十鈴塾右王舎 定員 20名

『「日本」に出会う』シリーズ 第19回

日本各地から地方色が失われています。そして、季節の風情や味覚までも。つまり、日本文化を構成する多様性が失われつつあるのです。何をもって「日本らしさ」かというのも議論がわかれるところですが、五十鈴塾が注目する「日本らしさ」に神崎塾長と出会いに行ってみたくと思います。回数を重ねると、次代に繋げなければならない何かが見えてくることを期待して、歩いて・見て・話しあってみましょう。

五黄の寅と干支

百五銀行の頭取でありながら陶芸家として北大路魯山人と並び称される川喜田半泥子が五黄の寅の生まれであることを記念して、津市にある石水博物館で「五黄の寅」展が催されますので、鑑賞に行こうと企画しました。五黄の寅は36年に一度回ってくる干支で、最強の運勢なのだそう。寅は十二支の中で最も運勢が強いそうで、星占いに使われる九星の五黄土星は帝王の星といわれています。これが重なるのですからもう超強運、上昇志向が高くお金にも困らないうらやましい運勢です。寅以外の干支はどうなのでしょう？ そちらの方が気になりますがそもそも干支というものはなんだったのでしょうか。神崎先生にお話いただいて、そのあと虎と干支に関する展覧会をじっくり鑑賞いたしましょう。昼食は半泥子ゆかりの料亭「はま作」でいただきます。

日 時 2月11日(金・祝) 10:30~13:30 参加費 会員 6,500円 ビジター 7,000円(昼食代・入館料含む)
集合場所 10:20に石水博物館集合 定員 15名

薬膳料理を知る

講師 高木 久代 鈴鹿医療科学大学副学長・保健衛生学部教授・日本薬膳学会代表理事
協力 おかげ横丁すし久

薬膳とは食材の特性を理解しながら、季節、年齢、体質等に合わせて選び調理した膳で、特定の料理ではなく健康を目指した食養生のことだそうです。基本の考えかたは三つあって①土地にあった食材②時期にあった食材③食べる人の体調、体質、年齢を考慮したもの。もともと中国医学からきたもので、なんと紀元前200年前の周の時代にはすでに食を司る「食医」が一番優秀な医師とされていました。日本にはこの「食養生」の考え方が遣隋使や遣唐使によってもたらされ、飛鳥時代から今日まで日本独自の食養生の考えが培われてきました。薬膳料理の第一人者高木先生のお話を伺って私たちの食生活を健康維持、健康増進に役立つ一助になればいいですね。お話の後は先生ご指導の薬膳料理をすし久でいただきます。

日 時 2月24日(木) 11:00~13:30 参加費 会員 3,800円 ビジター 4,300円(高木先生考案の薬膳料理付き)
場 所 五十鈴塾右王舎・すし久(おはらい町通りの食事処) 定員 20名